



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社 ホウスイ 上場取引所 東
 コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乃美 昭俊
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小林 留一 (TEL) 03 (3543) 3536
 管理本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	8,467	△3.2	17	△33.7	48	△10.8	18	25.6
22年3月期第1四半期	8,750	16.5	26	△71.1	54	△58.8	14	△84.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	0	22	—	—
22年3月期第1四半期	0	17	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	11,530	5,289	44.4	61	13			
22年3月期	11,967	5,439	44.0	62	93			

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 5,119百万円 22年3月期 5,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	—	—	2	00	2	00	2	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	2	00	2	00	2	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	17,500	△2.3	110	△5.4	190	13.2	100	7.9	1	19
通期	35,000	△3.5	270	△0.7	400	4.2	220	△3.3	2	63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	83,790,000株	22年3月期	83,790,000株
23年3月期1Q	39,915株	22年3月期	39,357株
23年3月期1Q	83,750,386株	22年3月期1Q	83,753,882株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の回復等を要因とした企業収益の持ち直しを背景に景況感が改善しつつありますが、失業率が高水準にあり、また、海外経済においては、一部のEU諸国の財政危機に端を発した金融市場の信用収縮の問題があるなど依然として厳しい状況が続いております。

水産・食品業界におきましても、景気の低迷を背景に、消費者の節約志向が続く厳しい経営環境にありました。

このような厳しい状況のなかで、当社グループは、引き続き、冷蔵保管機能、水産卸機能やリテールサポート機能を相互に融合して協働させることにより、収益の確保に努めて参りました。その結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高84億67百万円（前年同期比2億82百万円減）、営業利益17百万円（前年同期比9百万円減）、経常利益48百万円（前年同期比5百万円減）、四半期純利益は18百万円（前年同期比3百万円増）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

① 冷蔵倉庫セグメント

冷蔵倉庫セグメントの売上高は、8億74百万円（前年同期比1百万円増）となりました。また、入出庫量は増加傾向にありますが、在庫量が依然として停滞しているため、保管料収入は減少しましたが、管理費の減少により営業利益は2百万円（前年同期比15百万円増）になりました。

② 水産物卸売セグメント

水産物卸売セグメントの売上高は75億92百万円（前年同期比2億84百万円減）となりました。また、売上の伸び悩みによる売上総利益の減少により、営業利益は4百万円（前年同期比36百万円減）になりました。

セグメントの業績の詳細については、「3. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報」をご参照下さい。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(a) 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比4億37百万円減少の115億30百万円となりました。

流動資産は、関係会社預け金、現預金、売掛金の減少により、前連結会計年度末比4億83百万円減少の44億78百万円となり、固定資産については、冷蔵倉庫セグメントの資産取得により前連結会計年度末比46百万円増加の70億51百万円となりました。

(b) 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比2億87百万円減少の62億40百万円となりました。

流動負債は、未払金の減少等により、前連結会計年度末比2億6百万円減少の38億68百万円となり、固定負債は、借入金の返済、負ののれんの償却等により、前連結会計年度末比80百万円減少の23億71百万円となりました。

(c) 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、当第1四半期純利益が18百万円となりましたが、株主配当金の支払1億67百万円がありましたため、前連結会計年度末比1億50百万円減少の52億89百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前当第1四半期純利益が41百万円となり、売上債権の減少等による資金の増加がありましたが、たな卸資産の増加や仕入債務の減少、有形固定資産取得や長期借入金の返済等による資金の減少のため、当第1四半期連結会計期間末の資金は3億98百万円（前連結会計年度末比4億26百万円減少）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は41百万円（前年同期は3億82百万円の獲得）となりました。これは主にたな卸資産の増加、仕入債務の減少等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は89百万円（前年同期は1億10百万円の使用）となりました。これは主に冷蔵庫の設備投資や維持更新によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億95百万円（前年同期は2億88百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想に関しては、平成22年5月13日に公表いたしました予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却の方法

連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定しております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものから変動がないと認められるため、前連結会計年度において用いた一般債権の貸倒実績率を使用しております。

③ 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益、及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	208	311
受取手形及び売掛金	2,503	2,628
商品及び製品	1,254	984
原材料及び貯蔵品	17	19
関係会社預け金	200	723
繰延税金資産	188	188
その他	124	127
貸倒引当金	△18	△21
流動資産合計	4,478	4,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,726	9,337
減価償却累計額	△6,255	△6,181
建物及び構築物(純額)	3,470	3,155
機械装置及び運搬具	2,573	2,555
減価償却累計額	△1,851	△1,814
機械装置及び運搬具(純額)	721	741
工具、器具及び備品	225	199
減価償却累計額	△144	△138
工具、器具及び備品(純額)	80	60
土地	1,166	1,166
リース資産	186	135
減価償却累計額	△40	△31
リース資産(純額)	145	103
建設仮勘定	1,166	1,476
有形固定資産合計	6,751	6,704
無形固定資産	49	48
投資その他の資産		
投資有価証券	81	83
長期貸付金	8	8
繰延税金資産	78	77
その他	82	82
投資その他の資産合計	250	252
固定資産合計	7,051	7,005
資産合計	11,530	11,967

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,557	2,636
1年内返済予定の長期借入金	320	334
1年内返済予定の関係会社長期借入金	130	130
関係会社短期借入金	100	100
リース債務	38	28
未払法人税等	22	55
賞与引当金	22	72
役員賞与引当金	—	8
その他	676	710
流動負債合計	3,868	4,075
固定負債		
長期借入金	427	497
関係会社長期借入金	346	379
リース債務	107	75
退職給付引当金	980	975
役員退職慰労引当金	69	76
本社移転損失引当金	147	147
長期預り保証金	8	8
負ののれん	284	293
固定負債合計	2,371	2,452
負債合計	6,240	6,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,222	1,222
利益剰余金	1,412	1,561
自己株式	△1	△1
株主資本合計	5,118	5,268
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	2
評価・換算差額等合計	1	2
少数株主持分	169	168
純資産合計	5,289	5,439
負債純資産合計	11,530	11,967

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	8,750	8,467
売上原価	7,996	7,747
売上総利益	754	720
販売費及び一般管理費	727	702
営業利益	26	17
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	9	9
雑収入	22	27
営業外収益合計	35	37
営業外費用		
支払利息	8	6
雑支出	0	1
営業外費用合計	8	7
経常利益	54	48
特別損失		
前期損益修正損	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	54	41
法人税等	32	18
少数株主損益調整前四半期純利益	—	22
少数株主利益	7	4
四半期純利益	14	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	54	41
減価償却費	120	129
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24	4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△48	△49
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△8
受取利息及び受取配当金	△3	△1
支払利息	8	6
負ののれん償却額	△9	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	218	125
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△200	△267
仕入債務の増減額 (△は減少)	88	△78
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18	7
その他	140	106
小計	406	△2
利息及び配当金の受取額	4	1
利息の支払額	△8	△4
法人税等の支払額	△20	△36
営業活動によるキャッシュ・フロー	382	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△80	△290
無形固定資産の取得による支出	△9	—
預り保証金の受入による収入	0	1
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
預り保証金の返還による支出	△20	△0
差入保証金の回収による収入	0	—
関係会社預け金の減少による収入	—	200
貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100
短期借入金の返済による支出	—	△100
長期借入金の返済による支出	△116	△116
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△4	△7
配当金の支払額	△167	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288	△295
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15	△426

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
現金及び現金同等物の期首残高	2,215	824
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,199	398

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	水産物卸売事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	873	7,877	8,750	—	8,750
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8	8	17	(17)	—
計	881	7,886	8,767	(17)	8,750
営業利益または営業損失(△)	△13	40	26	—	26

(注) 1. 事業区分の方法は業種別の区分によるセグメンテーションを行なっている。

2. 各事業の主要な業務

(1) 冷蔵倉庫事業 水産物等の冷蔵保管

(2) 水産物卸売事業 水産物及びその加工製品の販売、リテールサポート

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に事業統括の本部を置き、水産物等の冷蔵保管及びその加工製品の販売、リテールサポートについて事業展開しており、「冷蔵倉庫」、「水産物卸売」を報告セグメントとしております。

「冷蔵倉庫」は、水産物等の冷蔵保管を行っております。「水産物卸売」は、水産物及びその加工製品の販売、リテールサポートを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）	四半期連結損益 計算書計上額 （注）3
	冷蔵倉庫	水産物卸売			
売上高					
外部顧客への売上高	874	7,592	8,467	—	8,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	5	16	△16	—
計	886	7,597	8,484	△16	8,467
セグメント利益	2	4	6	11	17

（注）セグメント利益の調整額11百万円は、管理費におけるセグメント間取引消去の額である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（負ののれんに関する報告セグメント別情報）

（単位：百万円）

	報告セグメント		全社消去	合計
	冷蔵倉庫	水産物卸売		
当四半期償却費	—	9	—	9
当四半期末残高	—	284	—	284

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。